

## 【別紙様式2】

## 千葉県国土整備部所管公共事業事後評価調書

事業名	社会資本整備総合交付金事業	担当課	千葉県道路整備課					
実施箇所	一般国道410号久留里馬来田バイパス							
該当基準	費用便益分析マニュアル（令和7年8月/国土交通省道路局 都市局）							
事業諸元	事業延長：15.7km、幅員：13.0m、道路規格：第3種第2級、設計速度：60km/h							
事業期間	昭和60年度～令和5年度							
総事業費	200億円							
目的・必要性	久留里馬来田バイパスは圏央道・木更津東ICにアクセスするとともに、君津市内のJR久留里駅周辺をはじめとした市街地の交通安全性の向上、南房総地域における観光振興等に寄与することを目的とした国道410号のバイパス事業である。							
便益の主な根拠	走行時間短縮便益、走行経費減少便益、交通事故減少便益							
事業全体の 投資効率性  ※（ ）社会的割引 前の金額		B総便益 (億円)	C総費用 (億円)	B/C	B-C (億円) 基準 年度			
	当初	659.7 (2,067.4)	252.6 (192.8)	2.6	407.1 H25			
	事後	523.5 (1,069.4)	451.4 (257.2)	1.2	72.1 R7			
事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>市街地を通り、屈曲且つ幅員狭小区間が存在する旧道からの交通転換により、南房総地域内陸部における南北方向の移動の所要時間が約15分短縮された。</li> <li>第一次緊急輸送道路となっている対象区間ににおいて、特殊通行規制区間が存在し、過去に隧道の崩落事故も発生している旧道ルートからの移行により、特殊通行規制区間を含まない緊急輸送道路が確保された。</li> <li>市街地を通り狭小な幅員や急カーブが存在する旧道から、バイパス整備に伴い交通量の転換が進展し、旧道の交通事故件数が減少傾向にある。</li> <li>コロナ過以降、南房総地域の観光客が回復傾向にある中、国道410号沿線の観光拠点へのアクセス性が向上しており、休日の断面交通量も増加している。</li> <li>久留里市街周辺から圏央道までのアクセス性が向上することにより、救命救急医療機関までの到達時間が短縮された。</li> </ul>							
事業実施による 環境の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>バイパス全線開通前後において、バイパスと旧道を合わせた対象区間全体の交通量が平日・休日ともに増加しており、また、対象区間を通行する交通の発着地にも広域化の傾向が受けられ、周辺地域の活性化に寄与している。</li> <li>一方で、市街地を通る旧道の交通量はバイパスへの転換により減少しており、沿線市街地における交通事故リスクの減少に寄与している。</li> <li>君津市内の救急搬送において、覚知から医療機関等への搬送に30分以上要するケースが約9割を占める中、沿線の市街地から救命救急医療機関までの到達時間が短縮し、沿線地域における生活の安心に寄与している。</li> </ul>							
社会経済情勢の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>大きな社会情勢の変化はみられない。</li> </ul>							

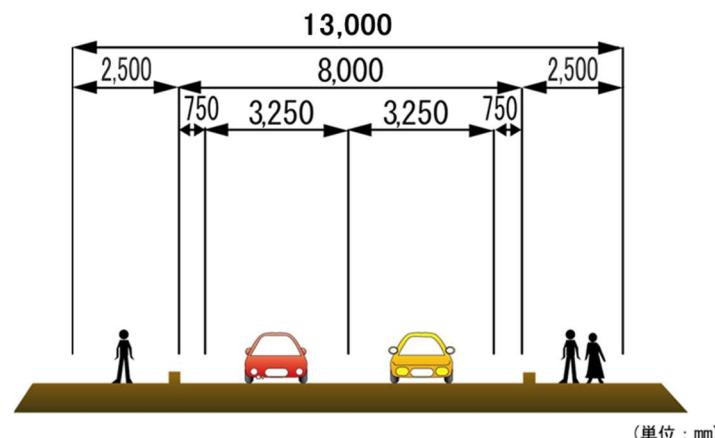
今後の事後評価の必要性	・本事業の費用対効果（B／C）は1.2と算出され、1.0を上回っており、また、事業の目的に対する効果の発現も確認できていることから、改めて事後評価の必要性は無い。
改善措置の必要性	・事業の目的に対する効果の発現も確認できていることから、今後の改善措置の必要性は無い。
同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性	・事業の目的に対する効果の発現を確認できており、事業評価手法の見直しの必要はない。
対応方針	・対応なし
対応方針理由	・事業の投資効果や目的に対する効果の発現状況が確認され、改善措置の必要性がないと判断されるため。
その他	・特になし。

【別紙様式3】

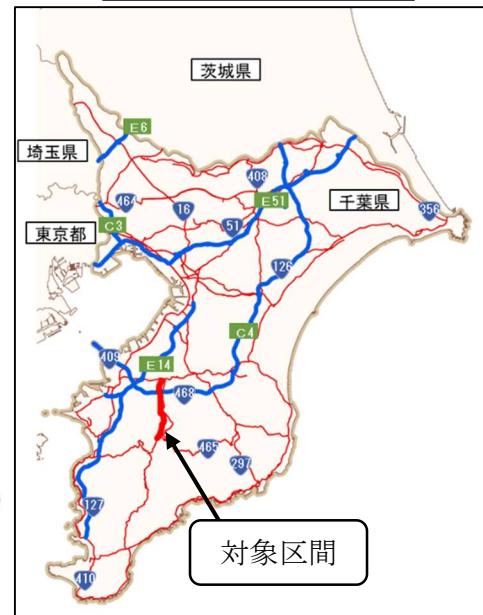
事業概要図

事業名	社会资本整備総合交付金事業	路線又は箇所名等	一般国道410号 久留里馬来田バイパス
-----	---------------	----------	------------------------

標準横断図



事後評価事業箇所図



事業概要図



昭和60年度	事業化、用地買収着手	平成15年	大坂地先(0.5km)供用…⑤
平成元年度	工事着手	平成18年	向郷地先(1.2km)供用…⑥
平成10年	馬来田工区(1.4km)供用…①	平成25年	俵田地先(1.9km)供用…⑦
平成10年	西原工区(0.6km)供用…②	平成29年	富田～俵田(1.4km)供用…⑧
平成15年	馬来田工区(2.3km)供用…③	令和6年3月	大坂～向郷(3.5km)供用(全線開通)…⑨
平成15年	西原工区(2.9km)供用…④		